

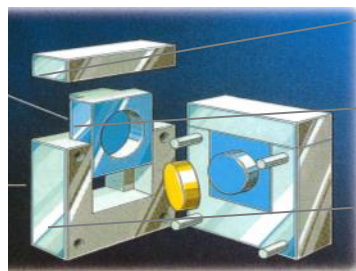
金型費が従来の半額！50個～の小ロット生産に対応！ “カセットダイカスト”で実現する工法転換で部品コスト削減！

“カセットダイカスト”とは

特許製法「ダイカストカセットシステム」による生産方式です。キャビティー部のみ交換により効率的な金型交換を実現、小ロット生産に対応します。また、お客様はキャビティー部のみのご負担となるため、金型費用を従来のダイカストの金型の約半額へとコストダウンが可能となります。

- メリット**
- 1 金型代が約半額！
 - 2 小ロット生産50個～対応！
 - 3 金型寿命・製品精度は同じ！

ダイカストカセットシステム図



天板を外せばらくらく金型交換！ 鋳造機の上で型交換でき小ロット生産が可能！

キャビティー部のみお客様負担なので金型代が約半額！

ベース部は鋳造機に常時セットの為予熱時間短縮！

『切削』から『ダイカスト』への工法転換でコストダウン可能

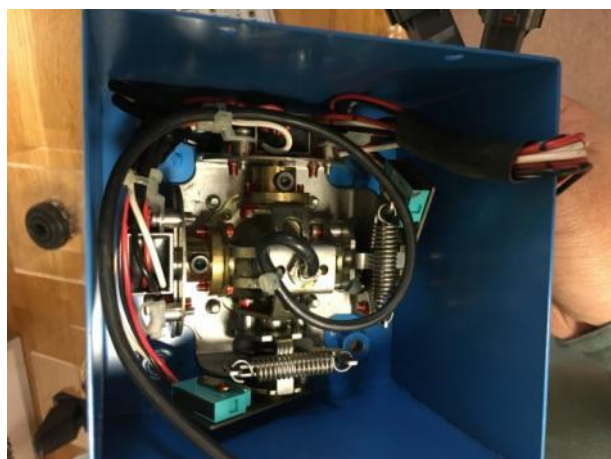
従来から切削加工によって大量生産しているは、カセットダイカストによる工法転換でコストダウンを実現できる場合があります。毎月一定量の生産を行なっている切削加工部品のVA・VE策として大変有効です。また、カセットダイカストにより短期間製造および安定供給化にも繋がります。

『切削＋板金』から『ダイカスト』へ置き換えてコストダウン！ カセットダイカストによる合理化提案事例！

従来お客様にて左下写真「重機操作用ジョイスティック」の部品を切削品＋板金品にて製作組立を行なっていました。その理由としては、生産ロットが少量であったこと、また金型のインシャルコストの問題でダイカストでの生産が難しいと判断され、上記加工方法に落ち着いていました。しかしながら、製品単価が高くなり過ぎていたことから、太陽パーツからカセットダイカストによるVA提案を行ないました。切削品と板金品を合わせた形状の設計いただきカセットダイカスト製法に工法転換したところ、インシャルを合わせても大幅なコスト削減を実現し、高評価をいただきました。

改善前

切削品＋板金品を組立て



改善後

ダイカスト品5点に部品集約

